

病院機能指標

項目番号	指標名	単位	期間	R1年度当院	定義 年間：各年度1年間（4月～3月） 定点：毎年6月1日時点
診療に係る項目					
1	高度医療評価制度・先進医療診療実施数	件	年間	75.0	1年間の高度医療評価制度及び、先進医療診療の実施数
2	手術室内での手術件数	件	年間	8,562.0	DPCデータを元に算出した、手術室で行われた手術の件数
3	緊急時間外手術件数	件	年間	746.0	DPCデータをもとに算出した、緊急に行われた手術（輸血以外）で、かつ時間外加算、深夜加算、休日加算を算定した手術
4	手術技術度DとEの手術件数	件	年間	8,222.0	DPCデータを元に算出した、手術技術度DとEに指定されている手術件数
5	手術全身麻酔件数	件	年間	4,744.0	DPCデータを元に算出した、手術室における手術目的の全身麻酔件数
6	重症入院患者の手術全身麻酔件数	件	年間	550.0	DPCデータを元に算出した、マスク又は気管内挿管による閉鎖式循環式全身麻酔（麻酔困難な患者）の算定件数
7	臓器移植件数 （心臓・肝臓・小腸・肺・膵臓）	件	年間	0.0	1年間の、心臓・肝臓・小腸・肺・膵臓の合計移植件数
8	臓器移植件数 （骨髄）	件	年間	21.0	1年間の骨髄移植の件数
9	脳梗塞の早期リハビリテーション実施率	%	年間	95.92	DPCデータを元に算出した、緊急入院した脳梗塞症例（再梗塞含む）に対する早期リハビリテーション実施率
10	急性心筋梗塞患者における入院当日もしくは翌日のアスピリン投与率	%	年間	97.4	DPCデータを元に算出した、急性心筋梗塞患者における入院当日もしくは翌日のアスピリン投与率
11	新生児のうち、出生体重が1500g未満の数	件	年間	29.0	DPCデータを元に算出した、自院における出生体重が1500g未満新生児の出生数
12	新生児特定集中治療室（NICU）実患者数	件	年間	477.0	DPCデータを元に算出した、総合周産期特定集中治療管理料（新生児集中治療室管理料）にて集中的に治療を行った実人数
13	緊急帝王切開数	件	年間	164.0	DPCデータを元に算出した、予定入院以外の帝王切開術（緊急帝王切開・選択帝王切開）の算定件数を合わせた件数
14	直線加速器による定位放射治療患者数	件	年間	92.0	DPCデータを元に算出した、直線加速器による低位放射線治療の算定件数
15	放射線科医がCT・MRIの読影レポート作成を翌営業日までに終えた割合	%	年間	97.9	CT・MRIの放射線科医による読影レポート作成を翌営業日までに終えた率
16	放射線科医が核医学検査の読影レポート作成を翌営業日までに終えた割合	%	年間	78.3	核医学検査の放射線科医による読影レポート作成を翌営業日までに終えた率
17	病理組織診断件数	件	年間	10,351.0	1年間の病理組織標本作成および術中迅速病理組織標本作成の算定件数（入院＋外来）細胞診は含めず
18	術中迅速病理組織診断件数	件	年間	704.0	DPCデータを元に算出した、術中迅速病理組織標本作成および術中迅速細胞診の算定件数
19	薬剤管理指導料算定件数	件	年間	9,545.0	DPCデータを元に算出した、薬剤管理指導料(1)(2)の算定件数
20	外来でがん化学療法を行った延べ患者数	件	年間	10,999.0	DPCデータを元に算出した、外来化学療法加算の算定件数
21	無菌製剤処理料算定件数	件	年間	14,837.0	DPCデータを元に算出した、無菌製剤処理料(1)(2)の算定件数（入院＋外来）
22	褥瘡発生率	%	年間	0.5	DESIGN-Rでd 2以上（深さ判定不能含む）、あるいはNAUAPの分類にてステージII以上（判定不能含む）に該当する褥瘡で年間入院患者数に対する、新しく褥瘡を作った患者数の比率
23	手術あり肺血栓塞栓症予防対策実施率	%	年間	62.41	DPCデータを元に算出した、特定の手術を実施した患者に対する肺血栓塞栓症予防管理料の算定割合
24	手術あり患者の肺塞栓症発生率	%	年間	0.11	DPCデータを元に算出した、特定の手術を実施した患者に対する肺血栓塞栓症の発症割合
25	多剤耐性緑膿菌（MDRP）による院内感染症発生患者数	件	年間	0.0	新規MDRP感染症発生患者数。持ち込み感染を除き、入院3日目以降に発症したものを計上する。
26	CPC（臨床病理検討会）の検討症例率	%	年間	4.74	CPC（臨床病理検討会）の件数を死亡患者数で除した割合（自院での死亡退院を対象）

病院機能指標

27	新規外来患者数	件	年間	13,791.0	対象年度1年間に新規で患者番号を取得し、かつ診療録を作成した患者数
28	初回入院患者数	件	年間	13,382.0	対象年度1年間の入院患者の内、入院日から過去1年間に自院で入院履歴がない入院患者数
29	10例以上適用した クリニカルパス（クリティカルパス）の数	件	年間	316.0	対象年度1年間に10例以上適用したクリニカルパスの数。 10例以上とはバリエーションによるクリニカルパスからの逸脱を含む。一部分に適用するクリニカルパスでも1件とする。
30	在院日数の指標		年間	0.95	中医協（DPC評価分委会）発表の資料より
31	患者構成の指標		年間	1.04	中医協（DPC評価分委会）発表の資料より
32	指定難病患者数	件	年間	2,829.0	対象年度1年間の指定難病実患者数 特定機能病院に係る業務報告書 様式2 4 指定難病についての診療で報告した件数
33	超重症児の手術件数	件	年間	2.0	DPCデータを元に算出した、超重症児の手術件数
教育に係る項目					
34	初期研修医採用人数（医科）	人	年間	52.0	初期研修プログラム1年目の人数（他院での研修を開始する場合を含む）
35	他大学卒業の初期研修医の採用割合（医科）	%	年間	11.5	初期研修医の内、他大学卒業の初期研修医の採用割合
36	専門医、認定医の新規資格取得者数	人	年間	99.0	自院に在籍中、あるいは他院で研修中に、1年間に新たに専門医または認定医の資格を取得した延べ人数
37	指導医数	人	定点	153.0	臨床経験7年目以上で指導医講習会を受講した臨床研修指導医の人数（6月1日時点）
38	専門研修コース（後期研修コース）の新規採用人数（医科）	人日	定点	80.0	後期研修コース1年目の人数（他院での研修を開始する場合を含む）
39	看護職員の研修受入数（外部の医療機関などから）	人日	年間	518.0	1年間の外部の医療機関などからの研修受け入れ述べ日（人数×日数）
40	看護学生の受入実習学生数（自大学から）	人日	年間	5,498.0	1年間の看護学科の自大学の実習学生述べ人日（人数×日数）
41	看護学生の受入実習学生数（自大学以外の養成教育機関から）	人日	年間	2,658.0	1年間の看護学科の自大学以外の養成教育機関からの実習学生述べ人日（人数×日数）（1日体験は除く）
42	薬剤師の研修受入数（外部の医療機関などから）	人日	年間	18.0	外部の医療機関などからの研修受け入れ延べ人日（人数×日数）
43	薬学生の受入実習学生数（自大学以外の養成教育機関から）	人日	年間	905.0	1年間の自大学以外の養成教育機関からの研修受け入れ述べ人日（人数×日数）
44	その他医療専門職の研修受入数（外部の医療機関などから）	人日	年間	688.0	外部の医療機関などからの研修受け入れ延べ人日（人数×日数）（1日体験は除く）
45	その他医療専門職学生の受入実習学生数（自大学以外の養成教育機関から）	人日	年間	1,275.0	自大学以外からの養成医療機関からの実習学生延べ人日（人数×日数）
46	全医療従事者向け研修・講習会開催数	人日	年間	137.0	各年度1年間の全医療従事者向け研修・講習会の開催数
47	初期臨床研修指導医講習会の新規修了者数	人日	年間	19.0	各年度中に自院に在籍中に新たに指導医講習会を終了した人数
48	基本19診療領域別後期研修新規登録者数	人日	年間	74.0	各年6月1日時点の基本19診療領域の後期研修医新規登録者数の実人数
研究に係る項目					
49	治験の実施症例件数	件	年間	69.0	登録件数ではなく、実施完了件数
50	治験審査委員会・倫理委員会で審査された自主臨床試験の件数	件	年間	27.0	人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則り実施される医薬品・医療機器・再生医療等製品を用いた医師主導臨床研究（治験を除き、介入及び侵襲を伴うものに限る）
51	医師主導治験件数	件	年間	3.0	実施中の医師主導治験の数
52	研究推進を担当する専任教員数	人日	定点	4.0	年度末時点の各国立大学付属病院の研究推進部門に所属し、医学系研究推進臨床研究の支援を担当する専任教員の数
地域・社会貢献に係る項目					

病院機能指標

53	救命救急患者数	件	年間	5,192.0	DPCデータを元に算出した、救急医療管理加算または救命救急入院料を算定した患者
54	二次医療圏外からの外来患者の割合	%	年間	45.3	二次医療圏外からの延べ外来患者率
55	公開講座等（セミナー）の主催数	件	年間	38.0	自院が主催した市民向けおよび医療者向けの講演会、セミナー等の開催数
56	地域医療行政への関与件数	件	年間	121.0	各年度1年間の大学病院から各地域の行政機関の委員会・協議会等へ参画している件数
国際化に係る項目					
57	自病院で総合窓口の患者対応が可能な言語数（日本語を除く）	カ国語	定点	12.0	総合窓口での患者への対応が可能な言語数（通訳業者委託、ボランティアによる通訳サービスなどを含む）6月1日時点
58	院内案内の表示言語数（日本語を除く）	カ国語	定点	1.0	院内案内（案内板、看板によるもの）の表示言語数
59	病院ホームページの対応言語数（日本語を除く）	カ国語	定点	1.0	病院ホームページ（トップページ）の対応言語数
60	海外大学病院及び医学部との交流協定締結数	カ国	定点	7.0	各年6月1日時点海外大学病院及び医学部との交流協定の締結数
運営に係る項目					
61	病床稼働率（一般病床）	%	年間	90.4	病床稼働率=（「入院患者延数」÷「延稼働病床数」）×100
62	病床稼働率（精神病床）	%	年間	91.3	病床稼働率=（「入院患者延数」÷「延稼働病床数」）×100
63	平均在院日数（一般病床）	日	年間	11.4	平均在院日数=「在院患者延べ数」÷（（「入院患者数」+「退院患者数」）÷2）
64	平均在院日数（精神病床）	日	年間	82.2	平均在院日数=「在院患者延べ数」÷（（「入院患者数」+「退院患者数」）÷2）
65	病床回転数（一般病床）	回数	年間	29.0	病床回転数=（365÷平均在院日数）×（病床稼働率[%]）÷100
66	病床回転数（精神病床）	回数	年間	4.1	病床回転数=（365÷平均在院日数）×（病床稼働率[%]）÷100
67	紹介率（医科）	%	年間	92.6	紹介率=（紹介患者数+救急車搬送患者数）÷初診患者数×100 歯科口腔外科を除く
68	逆紹介率（医科）	%	年間	102.9	逆紹介率=逆紹介患者数÷初診患者数×100 歯科口腔外科を除く
69	一般病棟の重症度、医療・看護必要度	%	定点	31.2	対象年度10月～3月の平均値
70	後発医薬品使用率（数量ベース）	%	年間	62.30	前年度10月1日～対象年度9月30日 の1年間の入院における後発医薬品使用率。使用率=（後発医薬品使用数量÷後発医薬品切替可能数量*）×100。*後発医薬品切替可能数量=後発医薬品のある先発医薬品の使用数量+後発医薬品の使用数量
71	業務損益収支率（病院セグメント）	%	年間	98.24	財務諸表から算出する。業務損益収支率=（経常収益÷経常費用）×100
72	債務償還経費占有率	%	年間	5.56	a+b。A=（施設整備債務償還経費（PFI活用も含む）÷診療報酬請求金額）×100、b：設備整備債務償還経費（PFI活用も含む）÷診療報酬請求金額×100
73	院外処方せん発行率	%	年間	11.18	院外処方せん発行率=（外来処方箋枚数（院外））÷外来処方箋枚数（院外）+外来処方箋枚数（院内）×100
歯科に係る項目					
74	研修指導歯科医数	人	年間	7.0	1年間に在籍した歯科医師①臨床経験7年以上で指導歯科医講習会を受講した臨床研修指導医②臨床経験5年以上で認定医・専門医の資格を有し、指導歯科医講習会を受講した臨床研修指導医
75	専門医、認定医の新規資格取得者数（歯科）	人	年間	13.0	1年間に自院在籍中に専門医または認定医の資格を新規取得した延べ人数。
76	初期研修歯科医採用人数	人	定点	8.0	6月1日時点での初期研修歯科医採用人数
77	歯科衛生士の受入実習学生数	人	定点	200.0	1年間の実習受入学生の延べ人数（人数×日数）
78	年間延べ外来患者数（歯科）	人	年間	29,887.0	1年間の延べ外来受診患者数

病院機能指標

79	周術期口腔機能管理料算定数	件	年間	2,477.0	周術期口腔機能管理料算定件数（算定延べ数）
80	歯科領域の特定疾患患者数	人	年間	4,653.0	歯科特定疾患療養管理料を算定した患者数（算定延べ数）
81	紹介率（歯科）	%	年間	96.2	紹介率（歯科）＝（紹介患者数＋救急車搬送患者数）÷初診患者数×100
82	逆紹介率（歯科）	%	年間	38.1	逆紹介率（歯科）＝逆紹介患者数÷初診患者数×100

当院の臨床指標は、国立大学附属病院病院機能指標と同じ方法で取りまとめています。

参考）平成30年度国立大学附属病院 病院機能指標 http://www.univ-hosp.net/features_09.pdf